

請 願 ・ 陳 情 文 書

(陳 情)
陳情第 4 号

アウガに関する陳情 (その 1) (不採択)

(陳情の趣旨)

新聞報道によると、青森市中心街の再開発ビル「アウガ」を管理運営する第三セクター青森駅前再開発ビルが多額の債務を抱え、債務超過寸前の厳しい経営状況に陥っていることから、同社の筆頭株主である青森市（出資比率35.6%）が債権者の複数の金融機関に対し、有利子債務23億3000万円を市が8億5000万円程度で買い取る債権譲渡を申し入れていたことが判明したということである。これは合併特例債が財源の地域振興基金から8億5000万円を運用し、アウガの抱える23億3000万円の債権を買い取って証券化して信託会社に預ける形となるということである。

当然、アウガの存続は望むものであるが、現在のアウガの経営が市民にとって看過できない状態にあることも知ってほしい。

間接的とはいえ公金を投入して行われる支援策である以上、筆頭株主である青森市はアウガに対し、厳しい態度で経営再建に向けた努力を促すことを求めると同時に、コンパクトシティの推進を願いつつ、下記事項について陳情する。

(陳情事項)

青森市は、筆頭株主として青森駅前再開発ビルの新社長を除く経営陣の刷新を求めること

平成20年 6 月 3 日

陳 情 者 青森市妙見 1 - 13 - 8
コンパクトシティを応援する会
代表 佐 藤 祥 吾

陳情第 5 号

アウガに関する陳情 (その 2) (不採択)

(陳情の趣旨)

新聞報道によると、青森市中心街の再開発ビル「アウガ」を管理運営する第三セクター青森駅前再開発ビルが多額の債務を抱え、債務超過寸前の厳しい経営状況に陥っていることから、同社の筆頭株主である青森市（出資比率35.6%）が債権者の複数の金融機関に対し、有利子債務23億3000万円を市が8億5000万円程度で買い取る債権譲渡を申し入れていたことが判明したということである。これは合併特例債が財源の地域振興基金から8億5000万円を運用し、アウガの抱える23億3000万円の債権を買い取って証券化して信託会社に預ける形となるということである。

当然、アウガの存続は望むものであるが、現在のアウガの経営が市民にとって看過できない状態にあることも知ってほしい。

間接的とはいえ公金を投入して行われる支援策である以上、筆頭株主である青森市はアウガに対し、厳しい態度で経営再建に向けた努力を促すことを求めると同時に、コンパクトシティの推進を願いつつ、下記事項について陳情する。

(陳情事項)

経営悪化の原因と責任の所在について青森駅前再開発ビルに対し、明らかにするよう株主として青森市が求め、さらに、青森駅前再開発ビル側の回答を議会及びマスコミを通じて市民に公開すること
平成20年6月3日

陳 情 者 青森市妙見1-13-8
コンパクトシティを応援する会
代表 佐藤祥吾

陳情第6号

文化観光交流施設に関する陳情(その1)(不採択)

(陳情の趣旨)

青森市では、平成22年度とされている東北新幹線の新青森駅開業に合わせて、ねぶたを通じて市民と観光客が交流する空間として、青森駅北側に文化観光交流施設を建設する計画があると聞いている。我々もねぶたの伝承や継承、展示、制作をする施設の必要性は認めており、その完成を願っている。

しかし、その一方で全国的な箱物行政に対する国民の冷ややかな反応にも理解を示している。巨額な税金を投じて建設される以上、文化観光交流施設については、現計画のような拙速な建設を避け、もっと市民に対し説明責任を果たすべきだと考える。また、財政状況が厳しい中で建設しなければならない存在意義についても、市は説明を果たしていないように感じる。

よって、下記事項について陳情する。

(陳情事項)

青森市は、文化観光交流施設に関して十分に市民に対し説明責任を果たし、市民に理解を求めること。

平成20年6月3日

陳 情 者 青森市妙見1-13-8
コンパクトシティを応援する会
代表 佐藤祥吾

陳情第7号

文化観光交流施設に関する陳情(その2)(不採択)

(陳情の趣旨)

青森市では、平成22年度とされている東北新幹線の新青森駅開業に合わせて、ねぶたを通じて市民と観光客が交流する空間として、青森駅北側に文化観光交流施設を建設する計画があると聞いている。我々もねぶたの伝承や継承、展示、制作をする施設の必要性は認めており、その完成を願っている。

しかし、その一方で全国的な箱物行政に対する国民の冷ややかな反応にも理解を示している。巨額な税金を投じて建設される以上、文化観光交流施設については、現計画のような拙速な建設を避け、もっと市民に対し説明責任を果たすべきだと考える。また、財政状況が厳しい中で建設しなければな

らない存在意義についても、市は説明を果たしていないように感じる。

よって、下記事項について陳情する。

(陳情事項)

文化観光交流施設が本当に市民要望のある施設なのか、いま1度市民に確認し、その結果によっては、計画変更を検討すること。

平成20年6月3日

陳情者 青森市妙見1-13-8
コンパクトシティを応援する会
代表 佐藤祥吾

陳情第8号

文化観光交流施設に関する陳情(その3)(不採択)

(陳情の趣旨)

青森市では、平成22年度とされている東北新幹線の新青森駅開業に合わせて、ねぶたを通じて市民と観光客が交流する空間として、青森駅北側に文化観光交流施設を建設する計画があると聞いている。我々もねぶたの伝承や継承、展示、制作をする施設の必要性は認めており、その完成を願っている。

しかし、その一方で全国的な箱物行政に対する国民の冷やかな反応にも理解を示している。巨額な税金を投じて建設される以上、文化観光交流施設については、現計画のような拙速な建設を避け、もっと市民に対し説明責任を果たすべきだと考える。また、財政状況が厳しい中で建設しなければならない存在意義についても、市は説明を果たしていないように感じる。

よって、下記事項について陳情する。

(陳情事項)

文化観光交流施設の拙速な建設を目指すのではなく、議会や市民説明会などで理解が得られた上で建設に着手すること。

平成20年6月3日

陳情者 青森市妙見1-13-8
コンパクトシティを応援する会
代表 佐藤祥吾

陳情第9号

石油高騰から生活困窮世帯を守るための施策を求める陳情(その1)(不採択)

(陳情の趣旨)

食料品、日用品の大幅な値上げが大きな家計負担になっている上に、5月1日の暫定税率復活後の原油高が加わって石油価格は、急騰し続けている。

今冬の灯油高騰は、積雪寒冷地の青森市民の生活を直撃した。国が低所得世帯に対して緊急支援策を打ち出したことにより、青森市も「福祉灯油購入費助成事業」を実施したが、助成対象世帯中、44.4%

の世帯がその恩恵を受けることができなかった。このことから、対象世帯に直接知らせて届けることを含め、周知の方法などを改善すべきである。

また、青森市は、生活保護世帯について制度の中で対応するとして、助成対象から除外したが、現在の「冬季加算」の額では不十分であると認めて、佐々木市長が県市長会会長として、その増額を今冬、国に要請したところである。しかし、今年度も11月から3月まで支給される「冬季加算」は2004年から据え置かれたままになっている。

現在、石油価格の値上げ幅が予想もしないほど大きくなってきていることから、低所得の市民生活を守るために、2008年度の灯油購入費助成について、青森市として、今から施策を立てるよう陳情するものである。

(陳情事項)

高齢者、障害者のいる世帯、母子世帯、生活保護世帯、低所得世帯等生活困窮世帯を支援する2008年度の「青森市福祉灯油購入費助成事業」を実施する対策を立てること。

平成20年6月6日

陳 情 者 青森市長島三丁目17 - 6
青森生活と健康を守る会
会長 齋 藤 恵 子

陳情第10号

石油高騰から生活困窮世帯を守るための施策を求める陳情(その2)(不採択)

(陳情の趣旨)

食料品、日用品の大幅な値上げが大きな家計負担になっている上に、5月1日の暫定税率復活後の原油高が加わって石油価格は、急騰し続けている。

今冬の灯油高騰は、積雪寒冷地の青森市民の生活を直撃した。国が低所得世帯に対して緊急支援策を打ち出したことにより、青森市も「福祉灯油購入費助成事業」を実施したが、助成対象世帯中、44.4%の世帯がその恩恵を受けることができなかった。このことから、対象世帯に直接知らせて届けることを含め、周知の方法などを改善すべきである。

また、青森市は、生活保護世帯について制度の中で対応するとして、助成対象から除外したが、現在の「冬季加算」の額では不十分であると認めて、佐々木市長が県市長会会長として、その増額を今冬、国に要請したところである。しかし、今年度も11月から3月まで支給される「冬季加算」は2004年から据え置かれたままになっている。

現在、石油価格の値上げ幅が予想もしないほど大きくなってきていることから、低所得の市民生活を守るために、2008年度の灯油購入費助成について、青森市として、今から施策を立てるよう陳情するものである。

(陳情事項)

積雪寒冷地の青森市の生活実態から、生活保護「冬季加算」の増額を早期に実現するよう、再度国に強く働きかけること。

平成20年6月6日

陳 情 者 青森市長島三丁目17 - 6
青森生活と健康を守る会
会長 齋 藤 惠 子
